

環境部会

環境部会長
(生11期) 菅田 忠志

本部の親子自然塾シリーズ『親子で集まれ炭焼き体験塾とケナフ紙すき塾』が2009年3月8日実施され、お手伝いした《ケナフの会》から下記の報告がありました。

親子自然塾 親子炭焼き体験とケナフ紙すき体験

ケナフの会 代表 長谷川 博

曇りのち雨の予報であったのに、春の日差しが一杯の3月8日カレッジで30人の親子が教室に参加されました。参加者は午前炭焼き、午後は紙すきと1日を楽しく過ごされました。事前に焼いたケナフ、竹(昨年1月17日東遊園地で慰霊祭に使用された竹)を炉から取り出し、新しく竹、楮(実習に行った杉原紙研究所より持参)を子供たちの手により、木槌で隙間に押し込みながら籠に入れ、炉に入れ着火しました。



炭焼きかごにすき間が出来ないように木槌で詰め込む――

炭の講義のあとは太陽のもと中庭で昼食。午後はケナフ、温暖化の事も含めて説明をし、ハガキ、葉を各人1枚ずつ押し花で各人独特の飾り付けをして完成をしました。ケナフの会スタッフは親子に作り方を汗を掻きながら手伝いと指導をしたことは言うまでもありません。

ふりかえりシートに「紙すき炭焼き楽しかった」「炭の活用をする」「脱臭効果を知った」と書かれたなかに「未来のためにエコ生活」「CO₂出来るだけ減らす」等6人の方が嬉しい感想を書かれ、環境問題も理解された思いを強くした1日でした。



木型にすくったあと、模様となる花びらをあしらっていく――

“わ”の人気イベントのひとつ、『豆腐づくり自然塾』ですが、今回は応募者が特に多かったこともあって、サポートしていただいた《銀の匙》のみなさんにがんばっていただき、2009年2月22日につづいて3月1日にも実施しました。以下は《銀の匙》から届いた報告です。

親子自然塾 親子で集まれ豆腐作り塾

銀の匙 代表 辻 郁子

今年も「親子で集まれ・・・塾」が開かれ、私たち「銀の匙」が手作り豆腐塾を担当させて頂きました。豆腐作りは、小学校3年生の学習にも取り入れられ、なかなかの人気らしいです。そのせいか、今年は特に応募者が多くて、2回も実施されました。『食』は一家団欒のもと、お父さんの参加が多いのも嬉しいことです。



“生呉(なまご)”と呼ばれる段階の豆腐の元になる煮込みを木綿の袋に入れ、絞り込むと豆乳とおからに分かれる――

家では何もしない子が洗い物に大活躍したり、食べたことがないのにあんなにおいしそうに・・・など言う声も聞かれ、これは良い企画だなと思います。

豆腐作りは、にがり打ちの後、固まるときが微妙で緊張します。うまくできると、心中密かに(いよっ、名人!)と自らをほめつつ、これからも食育に関わるボランティアに参加していきたいと思う私たちです。



さあ いよいよ豆腐作りの仕込み段階
おぼろ豆腐状のものを型に入れ豆腐に仕上げる――